

注3 **大学番号：私238**

[平成26年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

認可

奈良産業大学 人間教育学部
(奈良学園大学(平成26年度より大学名称変更))

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 奈良学園
平成29年5月1日現在

作成担当者			
担当部局(課)名 事務局			
職名・氏名	局長	仁後	キミヨキ 公幸
電話番号	0745-73-7800		
(夜間)	0745-73-7820		
F A X	0745-72-0822		
e-mail	jimu@naragakuen-u.jp		

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人間教育学部

＜人間教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	25
4. 既設大学等の状況	27
5. 教員組織の状況	29
6. 留意事項等に対する履行状況等	43
7. その他全般的事項	45

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人奈良学園

(2) 大学名

奈良学園大学 (平成26年度奈良産業大学から名称変更)

(3) 大学の位置

〒636-8503

奈良県生駒郡三郷町立野北3丁目12-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ニシカワ チカシ) 西川 彰 (平成19年4月)		
学長	(カジタ エイチ) 梶田 毅一 (平成26年4月)	(ツジ キイチロウ) 辻 毅一郎 (平成29年4月)	一身上の都合により、平成29年3月に梶田毅一学長が退職したため、平成29年4月1日から変更(29)
学部長	(マツダ トモコ) 松田 智子 (平成26年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
人間教育学部 人間教育学科 学士(教育学)	教育学・保育学関係	4年	120人	— 年次人	480人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	120人 () []	—	120人 () []	—	120人 () []	—	120人 () []	—	0.98倍			
志願者数	213 () []	— () []	213 () []	— () []	228 (1) []	— () []	279 (5) []	— () []				
受験者数	200 () []	— () []	208 () []	— () []	222 (1) []	— () []	272 (5) []	— () []				
合格者数	139 () []	— () []	142 () []	— () []	151 (1) []	— () []	161 (5) []	— () []				
B 入学者数	111 () []	— () []	110 () []	— () []	123 (1) []	— () []	130 (5) []	— () []				
入学定員超過率 B/A	0.92		0.91		1.02		1.08					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	111 [-] (-)	- [-] (-)	110 [-] (-)	- [-] (-)	123 [-] (-)	- [-] (-)	130 [-] (-)	- [-] (-)		
2年次	/		105 [-] (-)	- [-] (-)	107 [-] (-)	- [-] (-)	113 [-] (-)	- [-] (-)		
3年次			/		/		103 [-] (-)	- [-] (-)	110 [-] (-)	- [-] (-)
4年次							/		/	
計			111 [-] (-)	215 [-] (-)	333 [-] (-)	455 [-] (-)				

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	111 人	10 人	平成26年度	6 人	— 人	就学意欲の低下(2人), 就職(2人), 家庭の事情(1人), 他の教育機関への入学・転学(1人)	9.00 %
			平成27年度	3 人	— 人	就学意欲の低下(1人), 就職(1人), 他の教育機関への入学・転学(1人)	
			平成28年度	1 人	— 人	一身上の都合(1人)	
			平成29年度	— 人	— 人		
平成27年度 入学者	110 人	5 人	平成27年度	3 人	— 人	就学意欲の低下(1人), 就職(1人), 一身上の都合(1人)	4.54 %
			平成28年度	2 人	— 人	一身上の都合(1人), 就職(1人)	
			平成29年度	— 人	— 人		
平成28年度 入学者	124 人	10 人	平成28年度	10 人	— 人	就学意欲の低下(1人), 就職(4人), 他の教育機関への入学・転学(4人), 学生個人の心身に関する事情(1人)	8.06 %
			平成29年度	— 人	— 人		
平成29年度 入学者	135 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人		0.00 %
合 計	480 人	25 人					5.20 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人間教育学部 人間教育学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目 基礎教養科目	英語 I	1・2・3・4前	1								兼1	<ul style="list-style-type: none"> ・熊田岐子専任講師が准教授に昇格(29)平成28年12月教員審査済判定可 ・オチャンテ 村井 カルロス マヌエル兼任講師を採用し、当初の計画どおり熊田岐子准教授とクラスを分けて担当(29) ・武田亜希子兼任講師退職のため、熊田岐子専任講師のみが担当(27) ・熊田岐子専任講師が准教授に昇格(29)平成28年12月教員審査済判定可 ・オチャンテ 村井 カルロス マヌエル兼任講師を採用し、当初の計画どおり熊田岐子准教授とクラスを分けて担当(29) ・武田亜希子兼任講師退職のため、熊田岐子専任講師のみが担当(27) ・平成28年度後期通常開講(29) ・履修希望者がいなかったため平成27年度後期末開講(28) ・教学上の効果を考慮し、配当学期を変更(29) ・留学生対象 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・留学生の入学者がいないため未開講(26)(27)(28)(29) ・留学生対象 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・留学生の入学者がいないため未開講(26)(27)(28)(29) ・留学生対象 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・留学生の入学者がいないため未開講(26)(27)(28)(29) ・留学生対象 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・留学生の入学者がいないため未開講(26)(27)(28)(29) ・阿尾あすか助教が講師に昇格(28)平成27年11月教員審査済判定可 ・平成28年度後期通常開講(29) ・履修希望者がいなかったため平成27年度後期末開講(28) ・履修希望者がいなかったため平成26年度後期末開講(27) ・平成27年度後期通常開講(28) ・平成28年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(29) ・履修希望者がいなかったため平成26年度後期末開講(27) ・吉岡隆之兼担教授が退職し兼任講師として就任(29) ・通常開講(29) ・履修希望者がいなかったため未開講(26)(27)(28) ・通常開講(29) ・履修希望者がいなかったため未開講(26)(27)(28) ・吉岡隆之兼担教授が退職し兼任講師として就任(29) ・教学上の理由等により集中に変更(29) ・平成28年度後期通常開講(29) ・※演習・共同 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・履修希望者がいなかったため平成27年度後期末開講(28) ・履修希望者がいなかったため平成26年度後期末開講(27)
	英語 II	1・2・3・4後	1								兼1	
	英会話 I	1・2・3・4前	1				1		+		兼1	
	英会話 II	1・2・3・4後	1				1		+		兼1	
	中国語基礎 I	1・2・3・4前			1		1					
	中国語基礎 II	1・2・3・4後 未開講 1・2・3・4後			1		1					
	中国語会話	1・2・3・4前 1・2・3・4後			1		1					
	日本語 I	未開講 未開講 未開講 未開講 1・2・3・4後			1						兼1	
	日本語 II	未開講 未開講 未開講 未開講 1・2・3・4後			1						兼1	
	日本語表現 I	未開講 未開講 未開講 未開講 1・2・3・4後			1						兼1	
	日本語表現 II	未開講 未開講 未開講 未開講 1・2・3・4後			1						兼1	
	文学	1・2・3・4前			2				1	+		
	哲学	1・2・3・4後 未開講 未開講 1・2・3・4後			2						兼1	
	倫理学	1・2・3・4後			2						兼1	
	心理学	1・2・3・4後 未開講 1・2・3・4後			2						兼1	
	行動科学の基礎	1・2・3・4前 未開講 未開講 未開講 1・2・3・4前			2						兼1	
文化人類学	1・2・3・4前 未開講 未開講 未開講 1・2・3・4前			2						兼1		
感性・イメージ表現	1・2・3・4後 未開講 未開講 1・2・3・4後			2						兼2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	音楽の世界	1・2・3・4前 未開講 1・2・3・4前		2		1	1					・山本美紀准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 判定可 ・履修希望者がいなかったため未開講(27)
	社会学	1・2・3・4後 1・2・3・4前 未開講 1・2・3・4前		2								・井上眞理子兼担教授が退職し兼任講師として就任(29) ・教学上の効果を考慮し、配当学期を変更(29) ・履修希望者がいなかったため未開講(26)
	社会科学の基礎	未開講 1・2・3・4後 未開講 1・2・3・4後		2								・履修希望者がいなかったため平成28年度後期末開講(29) ・西川弘展兼担講師が退職し兼任講師として就任(29) ・平成27年度後期通常開講(28) 平成28年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(29) ・履修希望者がいなかったため平成26年度後期末開講(27)
	日本国憲法	1・2・3・4後	2	2								・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26)
	外国史	1・2・3・4前 未開講 1・2・3・4前		2								・平成27年度通常開講(27) 平成27年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(29) ・履修希望者がいなかったため未開講(26)
	地理学	1・2・3・4前		2								
	数学の世界	1・2・3・4前 未開講 1・2・3・4前		2		1						・教員組織調整に伴い根岸章兼担教授が専任教授に就任(29) 平成29年2月教員審査済 判定可 ・平成27年度通常開講(27) 平成27年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(29) ・履修希望者がいなかったため未開講(26)
	物理と地学の基礎	1・2・3・4後		2								・大原荘司兼担教授が退職し兼任講師として就任(29)
	環境化学の基礎	1・2・3・4前 未開講 1・2・3・4前		2								・阪元勇輝兼担教授が退職し兼任講師として就任(29) ・教学上の理由等により集中に変更(29) ・平成28年度通常開講(28) 平成28年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(29) ・履修希望者がいなかったため未開講(27)
	実験と科学	1・2・3・4前 未開講 未開講 1・2・3・4前		2								・大原荘司兼担教授が退職し兼任講師として就任(29) ・平成28年度通常開講(28) 平成28年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(29) ・履修希望者がいなかったため未開講(26)(27)
	健康スポーツ(理論)	1・2・3・4前	1	1								・教員組織調整に伴い担当教員変更(29) ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26)
	健康スポーツ(実技)	1・2・3・4後	1	1								・教員組織調整に伴い担当教員変更(29) ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26)
	スポーツ実技Ⅰ	1・2・3・4前		1								・岡部修一兼担教授が退職し兼任講師として就任(29) ・西田裕之兼担教授が退職し兼任講師として就任(29)
	スポーツ実技Ⅱ	1・2・3・4後		1								・岡部修一兼担教授が退職し兼任講師として就任(29) ・西田裕之兼担教授が退職し兼任講師として就任(29)
共生教養科目	共生と日本社会	1・2・3・4前 未開講 未開講 1・2・3・4前		2								・平成28年度通常開講(28) 平成28年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(29) ・履修希望者がいなかったため未開講(26)(27)
	人権論	1・2・3・4後		2								
	ボランティア活動	1・2・3・4後		2								
	生活と環境	1・2・3・4後		2								・阪元勇輝兼担教授が退職し兼任講師として就任(29) ・大原荘司兼担教授が退職し兼任講師として就任(29) ・オムニバス 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28)
国際科目	奈良学	1・2・3・4後		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
国際科目 奈良・ 国際科目	文化コミュニケーション	1・2・3・4前 未開講 1・2・3・4前		2							兼1 ・平成27年度通常開講(27) 平成27年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(29) ・履修希望者がいなかったため未開講(26)
	文化芸術交流論	1・2・3・4前 未開講 未開講 1・2・3・4前		2							兼2 ・吉岡隆之兼担教授が退職し兼任講師として就任(29) ・教学上の理由等により集中に変更(29) ・平成28年度通常開講(28) 平成28年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(29) ・オムニバス・共同(一部) 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・履修希望者がいなかったため未開講(27)
	文化芸術交流演習	未開講 未開講 未開講 1・2・3・4後		1							兼2 ・履修希望者がいなかったため平成28年度後期末開講(29) ・吉岡隆之兼担教授が退職し兼任講師として就任(29) ・集中・共同 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・履修希望者がいなかったため平成27年度後期末開講(28) ・履修希望者がいなかったため平成26年度後期末開講(27)
	国際経済事情	1・2・3・4前 未開講 1・2・3・4前		2							兼1 ・平成27年度通常開講(27) 平成27年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(29) ・履修希望者がいなかったため未開講(26)
共通教育科目 情報教養科目	情報機器の操作	1・2・3・4前	2	2							兼1 ・※演習 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26)
	情報倫理とセキュリティ	1・2・3・4後 未開講 1・2・3・4後		2							兼1 ・平成27年度後期末通常開講(28) 平成28年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(29) ・履修希望者がいなかったため平成26年度後期末開講(27)
	シミュレーションの世界	1・2・3・4後 未開講 1・2・3・4後		2							兼1 ・平成27年度後期末通常開講(28) 平成27年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(29) ・※演習 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・履修希望者がいなかったため平成26年度後期末開講(27)
	データの世界	1・2・3・4後 未開講 1・2・3・4後 1・2・3・4前・後		2							兼1 ・平成28年度後期末通常開講(29) ・履修希望者がいなかったため平成26年度後期末開講(27) ・履修希望者少数のため、開講区分を変更(27)
	CGの基礎と演習	1・2・3・4前 未開講 1・2・3・4前・後		2							兼1 ・※演習 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・履修希望者少数のため、開講区分を変更(27) ・履修希望者がいなかったため未開講(26)
キャリア形成科目	キャリアデザインⅠ	1前		1			1	4			・岡野聡子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可
	キャリアデザインⅡ	1後		1			1	4			・岡野聡子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可
	キャリアディベロップメントⅠ	2前		1			1	4			・岡野聡子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可
	キャリアディベロップメントⅡ	2後		1			1	4			・岡野聡子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可
	キャリアスキルアップⅠ	3前		1			1	4			・岡野聡子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可
	キャリアスキルアップⅡ	3後		1			1	4			・岡野聡子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可
	インターンシップ	3前・後		2			1	4			・岡野聡子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・集中 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28)
共通教育科目小計(53科目)	—	10 4	74 80	0	3 2 4	3 1 2	1 3 2	0 1 0			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 基礎科目 教育学の基礎に関する理解	教育心理学A(初等)	2前	2				1	4				・岡村季光専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可	
	教育心理学B(中等)	2前		2			1	4				・岡村季光専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可	
	発達心理学A(初等)	1前		2					1				
	発達心理学B(中等)	1前		2					1				
	教育行政学A(初等)	後 2前	2	2		4						兼1 ・西辻正副教授の病氣療養(平成28年6月～平成29年7月)により平成28年度後期担当教員変更(29) ・教学上の効果を考慮し、配当学期を変更(28) ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26)	
	教育行政学B(中等)	2後 未開講 後 2前		2		4						兼1 ・平成28年度後期通常開講(29) ・西辻正副教授の病氣療養(平成28年6月～平成29年7月)により平成28年度後期担当教員変更(29) ・履修希望者がいなかったため平成27年度後期末開講(28) ・教学上の効果を考慮し、配当学期を変更(27)	
	教職入門A(初等)	1前	2			4	1						・鎌田首治朗教授退職のため松井典夫准教授に担当教員変更(29) 平成29年2月教員審査済 判定可
	教職入門B(中等)	1前		2		4	1	4					・瀧明知恵子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・教員組織調整に伴い鎌田首治朗教授から瀧明知恵子講師に担当教員変更(28) 平成28年1月教員審査済 判定可
	保育者論	2後		2								兼1	・保育士養成課程認可による科目追加(28)
	教育原理A(初等)	1後	2			1 2 4	4						・オムニバス 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・中田正浩教授退職に伴い松田智子教授が単独で担当(28) 平成28年1月教員審査済 判定可 ・中田正浩准教授が教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済
	教育原理B(中等)	1後		2		1 2 4	4						・オムニバス 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・中田正浩教授退職に伴い松田智子教授が単独で担当(28) 平成28年1月教員審査済 判定可 ・中田正浩准教授が教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済
	保育原理	1後		2								兼1	・保育士養成課程認可による科目追加(28)
	学力と評価	未開講 未開講 2前		2			4						兼1 ・教学上の理由等により集中に変更(29) ・鎌田首治朗教授が退職し引き続き兼任講師として就任(29) ・履修希望者がいなかったため未開講(29) ・履修希望者がいなかったため未開講(28)
言葉の理解	2後	2	2		1	4						・阿部秀高准教授退職のため、伊崎一夫教授に担当教員変更(27) 平成27年1月教員審査済 ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26)	
社会の理解	1後	2	2		4	4	1				兼1	・中田正浩兼任講師が退職し山田均専任講師が就任(29) 平成29年2月教員審査済 判定可 ・中田正浩教授が退職し兼任講師として就任(28) ・中田正浩准教授が教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済 ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 基礎科目 教育学の基礎に関する理解	数の理解	1後	2	2		1	1					<ul style="list-style-type: none"> ・金山憲正准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 判定可 ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26) 	
	自然の理解	前 2後	2	2					1		兼1	<ul style="list-style-type: none"> ・教学上の効果を考慮し、配当学期を変更(28) ・秋吉博之兼任講師就任辞退により太田雄久助教に担当教員変更(27) 平成27年1月教員審査済 ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26) 	
	生活の理解	1後	2	2		1	1		1			<ul style="list-style-type: none"> ・教員組織調整に伴い松田智子教授及び岡野聡子講師から善野八千子教授に担当教員変更(28) 平成27年11月教員審査済 判定可 ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26) 	
	音楽の理解	前 1後	2	2		1	1					<ul style="list-style-type: none"> ・山本美紀准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 判定可 ・教学上の効果を考慮し、配当学期を変更(27) ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26) 	
	美術の理解	前 1後	2	2			1		1			<ul style="list-style-type: none"> ・教学上の効果を考慮し、配当学期を変更(27) ・松井典夫専任講師が准教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済 ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26) 	
	衣食住の理解	2前		2						1		兼1	<ul style="list-style-type: none"> ・集中 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記。 また、平成28年度に教学上の効果を考慮し、集中から当該授業期間に変更(28) ・教員組織調整に伴い西江なお子兼任講師が助教に就任(28) 平成28年1月教員審査済 判定可
	運動・健康の理解	2前	2	2			1						<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26)
	書写演習(小)	2後 未開講 2後		2		1							<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度後期通常開講(29) ・履修希望者がいなかったため平成27年度後期末開講(28)
	器楽演習Ⅰ(鍵盤楽器)	前 1後		2				1	1				<ul style="list-style-type: none"> ・瀧明知恵子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・教学上の効果を考慮し、配当学期を変更(27)
	器楽演習Ⅱ(鍵盤楽器)	2後		2				1	1				<ul style="list-style-type: none"> ・瀧明知恵子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可
	器楽演習Ⅲ(パーカッション)	1前		2								兼1	
	器楽演習Ⅳ(パーカッション)	1後		2								兼1	
	行動の科学	2後		2					1				
	食の心理	2後		2					1				
	国語学入門	2前		2		1							
	国語学Ⅰ	2後		2		1							
	国文学入門	2前		2					1	1			<ul style="list-style-type: none"> ・阿尾あすか助教が講師に昇格(28) 平成27年11月教員審査済 判定可
	国文学Ⅰ	2後 未開講 2後		2					1	1			<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度後期通常開講(29) ・阿尾あすか助教が講師に昇格(28) 平成27年11月教員審査済 判定可 ・履修希望者がいなかったため平成27年度後期末開講(28)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教育学の基礎に関する理解 基礎科目 人間教育学の基礎に関する理解 専門科目	漢文学入門	2前		2				1 +				兼1 ・山田明広兼任講師が平成28年度後期から専任講師に就任(29) 平成28年8月教員審査済 判定可 ・森岡(太田)ゆかり専任講師退職のため山田明広兼任講師に担当教員変更(28) 平成28年度後期に専任教員採用予定	
	漢文学 I	2後		2				1 +				兼1 ・山田明広兼任講師が平成28年度後期から専任講師に就任(29) 平成28年8月教員審査済 判定可 ・森岡(太田)ゆかり専任講師退職のため山田明広兼任講師に担当教員変更(28) 平成28年度後期に専任教員採用予定	
	書写・書道入門	1後		2		1							
	書写・書道 I	2前		2		1							
	37 小計(35科目)	—		50 46 64	0	7 9 7 5	4 -2 -4 5	4 5 6	2 +	0			
	人間教育学 I (入門)	1前	2			+						兼1 ・梶田叡一教授が退職し引き続き兼任講師として就任(29)	
	人間教育学 II (応用)	2前	2			+						兼1 ・梶田叡一教授が退職し引き続き兼任講師として就任(29)	
	ことばとコミュニケーション	1後		2		1							
	教育と日本の伝統文化入門	1後	2			1 2						兼1 ・梶田叡一教授が退職し引き続き兼任講師として就任(29) ・オムニバス 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28)	
	教育と日本の伝統文化演習	未開講 未開講 未開講 2前		1		3 -4						兼1 ・梶田叡一教授が退職し引き続き兼任講師として就任(29) ・履修希望者がいなかったため未開講(29) ・オムニバス 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・履修希望者がいなかったため未開講(28) ・履修希望者がいなかったため未開講(27)	
	異文化コミュニケーション	2前 未開講 未開講 2前		2			1	+				・通常開講(29) ・熊田岐子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・履修希望者がいなかったため未開講(28) ・履修希望者がいなかったため未開講(27)	
	英米文学	2前		2			1	+				・熊田岐子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可	
	英語とテレビに見る異文化	未開講 未開講 2後		2			1	+				・履修希望者がいなかったため平成28年度後期未開講(29) ・熊田岐子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・履修希望者がいなかったため平成27年度後期未開講(28)	
	コミュニティと音楽文化	未開講 未開講 2後		2		1	+					・履修希望者がいなかったため平成28年度後期未開講(29) ・山本美紀准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 判定可 ・履修希望者がいなかったため平成27年度後期未開講(28)	
小計(9科目)	—	6	11	0	4 -5 -4	1 0 +	0 +	0	0				
46 基礎科目小計(44科目)	—	30 12	61 57 75	0	8 11 9 8	5 -2 -4 5	4 5 6 7	2 +	0				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	発展科目 現代教育・教育経営に関する理解	現代教育論		2		1					兼1	・履修希望者がいなかったため平成28年度後期末開講(29) ・鎌田首治朗教授が退職し引き続き兼任講師として就任(29) ・教学上の理由等により集中に変更(29)	
		現代教育課題A(不登校・いじめ)	3前		2			1					
		現代教育課題B(特別支援)	未開講 3前		2			1				兼1	・教学上の理由等により集中に変更(29) ・履修希望者がいなかったため未開講(29) ・教員組織調整に伴い担当教員変更(28) ・阿部秀高准教授が退職し兼任講師として就任(27)
		現代教育課題C(学校と安全)	3後		2			1	1				・松井典夫専任講師が准教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済
		現代教育課題D(学校における異文化理解)	3後		2					1			
		幼児理解	2前		2			1					
		保育相談支援	2後 未開講 2後		2			1	1				・岡村季光専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・平成28年度後期末通常開講(29) ・履修希望者がいなかったため平成27年度後期末未開講(28)
		教育相談の理論と方法A(初等)	3後	2	2			1	1				・岡村季光専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26)
		教育相談の理論と方法B(中等)	3後		2			1	1				・岡村季光専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可
		小計(9科目)	—	2 0	16 18	0	0 1	4 3	1 2	1	0		
	教育実践の理解	保育課程総論	2前		2			1					
		保育内容総論	2後		1			1					・保育士養成課程認可による科目追加(28)
		子どもと健康	未開講 2前		2			1					・履修希望者がいなかったため未開講(29)
		子どもと人間関係	2後		2			1					
		子どもと環境	未開講 2前		2			1	1				・岡野聡子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・履修希望者がいなかったため未開講(29)
		子どもと言葉	2後		2		1						
		子どもと表現(体育) 子どもと表現A(体育)	未開講 2前		2			1					・履修希望者がいなかったため未開講(29) ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、科目名称変更(26)
		子どもと表現(図工) 子どもと表現B(図工)	2後		2			1	1				・松井典夫専任講師が准教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済 ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、科目名称変更(26)
		子どもと表現(音楽) 子どもと表現C(音楽)	2後		2		1	1					・山本美紀准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 判定可 ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、科目名称変更(26)
		教育課程論A(初等)	3前	2	2							兼1	・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26)
教育課程論B(中等)	3前		2							兼1			
道徳教育の指導法A(初等)	後 3前	2	2			1					・教学上の効果を考慮し、配当学期を変更(28) ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26)		
道徳教育の指導法B(中等)	3前		2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 発展科目 教育実践の理解	教育方法・技術論A(初等)	後 3前	2	2		1	1					<ul style="list-style-type: none"> ・平松茂兼任講師就任辞退により平成28年度後期に米川雅士兼任准教授に担当教員を変更したが、平成29年3月に米川雅士兼任准教授が退職したため、平成29年度後期から金山憲正教授が単独担当予定(29) 平成29年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定 ・オムニバス 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・金山憲正准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 判定可 ・教学上の効果を考慮し、配当学期を変更(28) ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26) 	
	教育方法・技術論B(中等)	未開講 後 3前		2		1						<ul style="list-style-type: none"> ・平松茂兼任講師就任辞退により平成28年度後期米川雅士兼任准教授に担当教員変更(29) ・履修希望者がいなかったため平成28年度後期末開講(29) ・教員組織調整に伴い西辻正副教授から金山憲正教授に担当教員変更予定。また、オムニバスにより担当予定であった米川雅士兼任准教授退職に伴い、金山憲正教授が単独担当予定(29) 平成29年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定 ・オムニバス 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・教学上の効果を考慮し、配当学期を変更(28) 	
	特別活動の指導法A(初等)	2前	2	2		1						<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26) 	
	特別活動の指導法B(中等)	後 2前		2		1						<ul style="list-style-type: none"> ・教学上の効果を考慮し、配当学期を変更(28) 	
	生徒指導・進路指導論A(初等)	後 前 2後	2	2							兼1	<ul style="list-style-type: none"> ・教学上の理由等により集中に変更(29) ・教学上の効果を考慮し、配当学期を変更(28) ・教学上の効果を考慮し、配当学期を変更(27) ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26) 	
	生徒指導・進路指導論B(中等)	前 2後		2								兼1	<ul style="list-style-type: none"> ・教学上の理由等により配当学期を前期、集中に変更(29)
	国語科指導法	3前	2	2		1						<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26) 	
	社会科指導法	2前	2	2		1	1	1				兼1	<ul style="list-style-type: none"> ・中田正浩兼任講師が退職し山田均専任講師が就任(29) 平成29年2月教員審査済 判定可 ・中田正浩教授が退職し兼任講師として就任(28) ・中田正浩准教授が教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済 ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26)
	算数科指導法	2前	2	2		1	1					<ul style="list-style-type: none"> ・金山憲正准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 判定可 ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26) 	
	理科指導法	3前	2	2					1			兼1	<ul style="list-style-type: none"> ・秋吉博之兼任講師就任辞退により太田雄久助教に担当教員変更(27) 平成27年1月教員審査済 ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26)
	生活科指導法	2後	2	2		1						<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26) 	
	音楽科指導法	2後	2	2		1	1					<ul style="list-style-type: none"> ・山本美紀准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 判定可 ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26) 	
	器楽・歌唱の指導法	未開講 3後		2			1	1				<ul style="list-style-type: none"> ・履修希望者がいなかったため平成28年度後期末開講(29) ・瀧明知恵子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 	
図工科指導法	2後	2	2			1	1				<ul style="list-style-type: none"> ・松井典夫専任講師が准教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済 ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26) 		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目 発展科目 教育実践の理解	家庭科指導法	後 3前	2	2					1		兼1 ・集中 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記。 また、平成28年度に教学上の効果を考慮し、集中から当該授業期間に変更し、配当学期を前期から後期に変更(28) ・教員組織調整に伴い西江なお子兼任講師が助教に就任(28) 平成28年1月教員審査済 判定可 ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26)
	体育科指導法	3前	2	2			1				・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26)
	体育実技の指導法	未開講 3後		2			1				・履修希望者がいなかったため平成28年度後期末開講(29)
	総合的な学習の時間	2後		2			1				
	小学校外国語活動の指導法	2後		2			1	1			・熊田岐子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可
	国語学Ⅱ	3前		2		1					
	国語学特論	未開講 4前		2		1					・履修希望者がいなかったため未開講(29)
	語学・文学総合演習Ⅰ(国語学)	3後		2		1					
	国文学Ⅱ	3前 未開講 3前		2				1	1		・通常開講(29) ・阿尾あすか助教が講師に昇格(28) 平成27年11月教員審査済 判定可 ・履修希望者がいなかったため未開講(28)
	国文学特論	4前		2				1	1		・阿尾あすか助教が講師に昇格(28) 平成27年11月教員審査済 判定可
	語学・文学総合演習Ⅱ(国文学)	3後		2				1	1		・履修希望者がいなかったため平成28年度後期末開講(29) ・阿尾あすか助教が講師に昇格(28) 平成27年11月教員審査済 判定可
	漢文学Ⅱ	3前		2					1	1	兼1 ・山田明広兼任講師が平成28年度後期から専任講師に就任(29) 平成28年8月教員審査済 判定可 ・森岡(太田)ゆかり講師退職のため山田明広兼任講師に担当教員変更(28) 平成28年度後期に専任教員採用予定
	漢文学特論	未開講 4前		2					1	1	兼1 ・山田明広兼任講師が平成28年度後期から専任講師に就任(29) 平成28年8月教員審査済 判定可 ・履修希望者がいなかったため未開講(29) ・森岡(太田)ゆかり講師退職のため山田明広兼任講師に担当教員変更(28) 平成28年度後期に専任教員採用予定
	語学・文学総合演習Ⅲ(漢文学)	3後		2					1	1	兼1 ・山田明広兼任講師が平成28年度後期から専任講師に就任(29) 平成28年8月教員審査済 判定可 ・森岡(太田)ゆかり講師退職のため山田明広兼任講師に担当教員変更(28) 平成28年度後期に専任教員採用予定
書写・書道Ⅱ	未開講 未開講 3前		2		1					・履修希望者がいなかったため未開講(29) ・履修希望者がいなかったため未開講(28)	
国語科教育法Ⅰ	2後		2		1	1				兼1 ・西辻正副教授の病気療養(平成28年6月～平成29年7月)により鎌田首治朗教授に担当教員変更(29) 平成28年8月教員審査済 判定可 ・鎌田首治朗教授が退職し引き続き兼任講師として就任(29)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教育実践の理解	国語科教育法Ⅱ	3前 未開講 3前		2		1 1						兼1 ・西辻正副教授の病氣療養（平成28年6月～平成29年7月）により鎌田首治朗教授に担当教員変更(29) 平成28年8月教員審査済 判定可 ・鎌田首治朗教授が退職し引き続き兼任講師として就任(29) ・履修希望者がいなかったため未開講(28)
	国語科教育法Ⅲ	3後 未開講 3前		2		1						・教学上の効果を考慮し、配当学期を変更(29) ・履修希望者がいなかったため未開講(28)
	国語科教育法Ⅳ	未開講 3後		2		1						・履修希望者がいなかったため平成28年度後期末未開講(29)
	46 小計(45科目)	—	28 0	63 62 90	0	8 9 7 6	7 — 4 6	3 5 — 5	2 3 — 1			
専門科目 発展科目 教職キャリア形成	教職表現力演習Ⅰ	1通年		1		2	3 1 2 1	2 — 4 5	1			・岡野聡子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・岡村季光専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・教員内容を充実するため山田明広専任講師を追加(29) 平成28年8月教員審査済 判定可 ・山本美紀准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 ・森岡(太田)ゆかり講師退職のため桑原祐子教授に担当教員変更(28) 平成27年11月教員審査済 担当可 ・松井典夫専任講師が准教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済
	教職表現力演習Ⅱ	2通年		1		2	3 1 2 1	2 — 4 5	1			・岡野聡子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・岡村季光専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・教員内容を充実するため山田明広専任講師を追加(29) 平成28年8月教員審査済 判定可 ・山本美紀准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 ・森岡(太田)ゆかり講師退職のため桑原祐子教授に担当教員変更(28) 平成27年11月教員審査済 担当可 ・松井典夫専任講師が准教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済
	小計(2科目)	—	0	2	0	2 0	3 1 2 1	2 — 4 5	1			
57 発展科目小計(56科目)		—	30 0	81 80 110	0	8 9 8 7	8 4 6 7	4 6 — 7	3 2			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間教育学演習 演習実習科目 専門科目	人間教育実践力開発演習Ⅰ	1通年		1		2 3 2	1 +	2 + 0 +	1		<ul style="list-style-type: none"> ・鎌田首治朗教授が退職し山田均専任講師が就任(29) ・平成29年2月教員審査済 ・判定可 ・教員内容を充実するため西江なお子助教を追加(28) ・平成28年1月教員審査済 ・担当可 ・阿尾あすか助教が講師に昇格(28) ・平成27年11月教員審査済 ・担当可 ・阿部秀高准教授退職のため、鎌田首治朗教授に担当教員変更(27) ・平成27年1月教員審査済 ・松井典夫専任講師が准教授に昇格(27) ・平成27年1月教員審査済
	人間教育実践力開発演習Ⅱ	2通年		1		2 3 2	1 +	2 + 0 +	1		<ul style="list-style-type: none"> ・鎌田首治朗教授が退職し山田均専任講師が就任(29) ・平成29年2月教員審査済 ・判定可 ・教員内容を充実するため西江なお子助教を追加(28) ・平成28年1月教員審査済 ・担当可 ・阿尾あすか助教が講師に昇格(28) ・平成27年11月教員審査済 ・担当可 ・阿部秀高准教授退職のため、鎌田首治朗教授に担当教員変更(27) ・平成27年1月教員審査済 ・松井典夫専任講師が准教授に昇格(27) ・平成27年1月教員審査済
	人間教育実践力開発演習Ⅲ	3通年		1		2 3 2	1 +	2 + 0 +	1		<ul style="list-style-type: none"> ・鎌田首治朗教授が退職し山田均専任講師が就任(29) ・平成29年2月教員審査済 ・判定可 ・教員内容を充実するため西江なお子助教を追加(28) ・平成28年1月教員審査済 ・担当可 ・阿尾あすか助教が講師に昇格(28) ・平成27年11月教員審査済 ・担当可 ・阿部秀高准教授退職のため、鎌田首治朗教授に担当教員変更(27) ・平成27年1月教員審査済 ・松井典夫専任講師が准教授に昇格(27) ・平成27年1月教員審査済
	人間教育実践力開発演習Ⅳ	4通年		1		2 3 2	1 +	2 + 0 +	1		<ul style="list-style-type: none"> ・鎌田首治朗教授が退職し山田均専任講師が就任(29) ・平成29年2月教員審査済 ・判定可 ・教員内容を充実するため西江なお子助教を追加(28) ・平成28年1月教員審査済 ・担当可 ・阿尾あすか助教が講師に昇格(28) ・平成27年11月教員審査済 ・担当可 ・阿部秀高准教授退職のため、鎌田首治朗教授に担当教員変更(27) ・平成27年1月教員審査済 ・松井典夫専任講師が准教授に昇格(27) ・平成27年1月教員審査済
	小計(4科目)	—		0	4	0	2 3 2	1 +	2 + 0 +	1	0
教育実践実習	教育実習事前事後指導(幼)	4通年		1		2	2 +	+	1		<ul style="list-style-type: none"> ・岡野聡子専任講師が准教授に昇格(29) ・平成28年12月教員審査済 ・判定可 ・教員内容を充実するため西江なお子助教を追加(28) ・平成28年1月教員審査済 ・担当可
	教育実習Ⅰ(幼)	4前		2		2	2 +	+	1		<ul style="list-style-type: none"> ・岡野聡子専任講師が准教授に昇格(29) ・平成28年12月教員審査済 ・判定可 ・集中 ・平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・教員内容を充実するため西江なお子助教を追加(28) ・平成28年1月教員審査済 ・担当可

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専 門 科 目 演 習 実 習 科 目 教 育 実 践 演 習	教育実習Ⅱ(幼)	4前		2		2	2 1	1	1		<ul style="list-style-type: none"> 岡野聡子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 集中 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) 教員内容を充実するため西江なお子助教を追加(28) 平成28年1月教員審査済 担当可
	教育実習事前事後指導(小)	3通年	1	1		3 -4 -3	4 -3 -4 5	1 2	2 1	<ul style="list-style-type: none"> 鎌田首治朗教授が退職し山田均専任講師が就任(29) 平成29年2月教員審査済 判定可 熊田岐子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 金山憲正准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 中田正浩教授退職のため西江なお子助教に担当教員変更(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 阿部秀高准教授退職のため、太田雄久助教に担当教員変更(27) 平成27年1月教員審査済 中田正浩准教授が教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済 松井典夫専任講師が准教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済 文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26) 	
	教育実習Ⅰ(小)	3前	2	2		3 -4 -3	4 -3 -4 5	1 2	2 1	<ul style="list-style-type: none"> 鎌田首治朗教授が退職し山田均専任講師が就任(29) 平成29年2月教員審査済 判定可 熊田岐子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 集中 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) 金山憲正准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 中田正浩教授退職のため西江なお子助教に担当教員変更(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 阿部秀高准教授退職のため、太田雄久助教に担当教員変更(27) 平成27年1月教員審査済 中田正浩准教授が教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済 松井典夫専任講師が准教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済 文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26) 	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 演習実習科目 教育実践演習	教育実習Ⅱ(小)	3前	2	2		3 -4 -3	4 -3 -4 5	1 2	2 4		<ul style="list-style-type: none"> ・鎌田首治朗教授が退職し山田均専任講師が就任(29) 平成29年2月教員審査済 判定可 ・熊田岐子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・集中 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・金山憲正准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 ・中田正浩教授退職のため西江なお子助教に担当教員変更(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 ・阿部秀高准教授退職のため、太田雄久助教に担当教員変更(27) 平成27年1月教員審査済 ・中田正浩准教授が教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済 ・松井典夫専任講師が准教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済 ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26) 	
	教育実習事前事後指導(中・高)	4通年 3通年		1				1 2				<ul style="list-style-type: none"> ・西辻正副教授の病氣療養(平成28年6月～平成29年7月)により当該科目担当の専任教員である松田智子教授が担当(29) ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、配当年次変更(26)
	教育実習Ⅰ(中・高)	4前 3前		2				1 2				<ul style="list-style-type: none"> ・西辻正副教授の病氣療養(平成28年6月～平成29年7月)により当該科目担当の専任教員である松田智子教授が担当(29) ・集中 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、配当年次変更(26)
	教育実習Ⅱ(中)	4前 3前		2				1 2				<ul style="list-style-type: none"> ・西辻正副教授の病氣療養(平成28年6月～平成29年7月)により当該科目担当の専任教員である松田智子教授が担当(29) ・集中 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、配当年次変更(26)
	教職実践演習(幼・小)	4後	2	2		4 -5 -4	6 -4 5 6	1 2 3	1		兼1	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌田首治朗教授が退職し山田均専任講師が就任(29) 平成29年2月教員審査済 判定可 ・岡野聡子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・岡村季光専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・阿部秀高兼任講師退職に伴い伊崎一夫教授が担当(29) 平成25年7月教員審査済 ・金山憲正准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 ・中田正浩教授退職のため西江なお子助教に担当教員変更(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 ・阿部秀高准教授が退職し兼任講師として就任(27) ・中田正浩准教授が教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済 ・松井典夫専任講師が准教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済 ・文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、必修に変更(26)
	教職実践演習(中・高)	4後		2		2						
小計(11科目)	—		7 0	12 10	0	5 6 5	6 -4 5 6	1 2 3	2 4 0	0		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目 演習実習科目 ゼミナール	基礎ゼミナールⅠ	1通年	2			4 3	4 -3 -4	2 3 2 3	2 1		<ul style="list-style-type: none"> ・鎌田首治朗教授が退職し根岸章教授が就任(29) 平成29年2月教員審査済 判定可 ・岡村季光専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・教員内容を充実するため西江なお子助教を追加(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 ・金山憲正准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 ・阿尾あすか助教が講師に昇格(28) 平成27年11月教員審査済 担当可 ・阿部秀高准教授退職のため、太田雄久助教に担当教員変更(27) 平成27年1月教員審査済 ・松井典夫専任講師が准教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済
	基礎ゼミナールⅡ	2通年	2			4 3	4 -3 -4	2 3 2 3	2 1		<ul style="list-style-type: none"> ・鎌田首治朗教授が退職し根岸章教授が就任(29) 平成29年2月教員審査済 判定可 ・岡村季光専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・教員内容を充実するため西江なお子助教を追加(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 ・金山憲正准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 ・阿尾あすか助教が講師に昇格(28) 平成27年11月教員審査済 担当可 ・阿部秀高准教授退職のため、太田雄久助教に担当教員変更(27) 平成27年1月教員審査済 ・松井典夫専任講師が准教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済
	人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)	3通年	4			9 10 8	8 5 8	2 -4 5		兼1	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌田首治朗教授が退職し根岸章教授が就任(29) 平成29年2月教員審査済 判定可 ・教員組織調整に伴い西辻正副教授から山田均専任講師に担当教員変更(29) 平成29年2月教員審査済 判定可 ・岡野聡子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・岡村季光専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・熊田岐子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・山本美紀准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 ・金山憲正准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 ・中田正浩教授退職に伴い松田智子教授が担当(28) 平成25年9月教員審査済 担当可 ・阿部秀高兼任講師退職に伴い伊崎一夫教授が担当(28) 平成25年7月教員審査済 担当可 ・阿部秀高准教授が退職し兼任講師として就任(27) ・中田正浩准教授が教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済 ・松井典夫専任講師が准教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
演習実習科目 ゼミナール	人間教育学ゼミナールⅡ(応用)	4通年		4		9 10 8	8 5 8	2 4 5			1 兼1	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌田首治朗教授が退職し引き続き兼任講師として就任(29) ・教員内容を充実するため根岸章教授を追加(29) 平成29年2月教員審査済 判定可 ・教員組織調整に伴い西辻正副教授から山田均専任講師に担当教員変更(29) 平成29年2月教員審査済 判定可 ・岡野聡子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・岡村季光専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・熊田岐子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・山本美紀准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 ・金山憲正准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 ・中田正浩教授退職に伴い松田智子教授が担当(28) 平成25年9月教員審査済 担当可 ・阿部秀高兼任講師退職に伴い伊崎一夫教授が担当(28) 平成25年7月教員審査済 担当可 ・阿部秀高准教授が退職し兼任講師として就任(27) ・中田正浩准教授が教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済 ・松井典夫専任講師が准教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済 	
	卒業研究	4後		4		9 10 8	8 5 8	2 4 5			1 兼1	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌田首治朗教授が退職し引き続き兼任講師として就任(29) ・教員内容を充実するため根岸章教授を追加(29) 平成29年2月教員審査済 判定可 ・教員組織調整に伴い西辻正副教授から山田均専任講師に担当教員変更(29) 平成29年2月教員審査済 判定可 ・岡野聡子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・岡村季光専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・熊田岐子専任講師が准教授に昇格(29) 平成28年12月教員審査済 判定可 ・山本美紀准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 ・金山憲正准教授が教授に昇格(28) 平成28年1月教員審査済 担当可 ・中田正浩教授退職に伴い松田智子教授が担当(28) 平成25年9月教員審査済 担当可 ・阿部秀高兼任講師退職に伴い伊崎一夫教授が担当(28) 平成25年7月教員審査済 担当可 ・阿部秀高准教授が退職し兼任講師として就任(27) ・中田正浩准教授が教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済 ・松井典夫専任講師が准教授に昇格(27) 平成27年1月教員審査済 	
	小計(5科目)	—		4	12	0	10 9 8	8 5 8	3 5 5	2 4	0		
	演習実習科目小計(20科目)	—		11	28	0	10 9 8	8 5 8	3 5 5	2 4	0		
	123 専門科目小計(120科目)	—		71	170 165	0	10 11 10 9	9 5 7 8	4 6 6 7	3 2	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
関連科目	学校経営と学校図書館	4前		2		1					兼1	・鎌田首治朗教授が退職し引き続き兼任講師として就任(29)
	学校図書館メディアの構成	4前		2		1	0 1				兼1 兼2 兼1	・阿部秀高兼任教員退職により伊崎一夫教授に担当教員変更(29) 平成29年2月教員審査済 判定可 ・木戸和彦兼任教員就任辞退により担当教員変更(29) ・オムニバス 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28) ・阿部秀高准教授が退職し兼任講師として就任(27)
	学習指導と学校図書館	4前		2		1	0 1				兼1	・阿部秀高兼任教員退職により伊崎一夫教授に担当教員変更(29) 平成29年2月教員審査済 判定可 ・阿部秀高准教授が退職し兼任講師として就任(27)
	読書と豊かな人間性	4後		2		1	0 1				兼1	・阿部秀高兼任教員退職により伊崎一夫教授に担当教員変更(29) 平成29年2月教員審査済 判定可 ・阿部秀高准教授が退職し兼任講師として就任(27)
	情報メディアの活用	4後		2							兼1	・木戸和彦兼任教員就任辞退により担当教員変更(29)
	言語学概論	4前		2							兼1	・集中 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28)
	社会言語学	3前 未開講 3前 3後		2							兼1	・通常開講(29) ・履修希望者がいなかったため未開講(28) ・教学上の効果を考慮し、配当学期を変更(28)
	日本事情	3後		2		1						
	日本語教育入門	未開講 3後		2							兼1	・履修希望者がいなかったため平成28年度後期末開講(29)
	日本語教育指導法・教材研究	未開講 4前		2							兼1	・履修希望者がいなかったため未開講(29)
	日本語教育実習事前事後指導	未開講 4前		1							兼1	・履修希望者がいなかったため未開講(29)
	日本語教育実習(国内又は海外)	未開講 4前		2							兼1	・履修希望者がいなかったため未開講(29) ・集中 平成26年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(28)
	社会福祉	2前		2							兼1	・教学上の理由等により集中に変更(29) ・保育士養成課程認可による科目追加(28)
	子どもの食と栄養	2前		2							兼1	・保育士養成課程認可による科目追加(28)
	乳児保育	1後		2			1					・保育士養成課程認可による科目追加(28)
15 関連科目小計(12科目)	—		0	29 23	0	2	1 0 1	0	0	0		
191 合計(185科目)	—		81 20	273 262 323	0	10 11 10 9	9 5 7 8	4 6 7	3 2	0		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 12	科目 173	科目 0	科目 185	科目 44	科目 147 144 26	科目 0	科目 191 185 6	平成26年度に文部科学省課程認定委員会からの意見に対応し、選択科目を必修科目に変更した。また、平成28年度に保育士養成課程認可により選択科目を追加した。(28)
				[32]	[△32]	[-]	[—]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{185} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	<p>【三郷キャンパス】 キャンパス内に野球場等 グラウンドを所有してい るが、別にサッカー陸上 グラウンドを徒歩20分2 kmの距離に所有してい る。</p> <p>【登美ヶ丘キャンパス】 校舎敷地は奈良文化女子 短期大学と共用 運動場用地は奈良文化女 子短期大学、奈良学園小 学校、奈良学園登美ヶ丘 中学校・高等学校と共用 奈良学園小学校 収容定員 720人 基準面積 7,200㎡ 奈良学園登美ヶ丘中学校 収容定員 600人 基準面積 7,200㎡ 奈良学園登美ヶ丘高等学 校 収容定員 675人 基準面積 8,400㎡ ※基準面積は全て運動用 敷地</p> <p>運動場用地及びその他を 三郷中学校の全面建て替 え工事に伴う仮設校舎建 築のための用地等に三郷 町に貸与した。貸与期 間：平成28年7月から平 成31年6月まで。 H28. 6. 28に届出済み。 (29)</p>		
	校舎敷地	53,750.43㎡	28,663.00㎡	31,155.00㎡	113,568.43㎡			
	運動場用地	121,214.58㎡ 123,614.58㎡	35,609.00㎡	0.00㎡	156,823.58㎡ 159,223.58㎡			
	小 計	174,965.01㎡ 177,365.01㎡	64,272.00㎡	31,155.00㎡	270,392.01㎡ 272,792.01㎡			
	そ の 他	24,330.00㎡ 26,380.00㎡	0.00㎡	0.00㎡	24,330.00㎡ 26,380.00㎡			
	合 計	199,295.01㎡ 203,745.01㎡	64,272.00㎡	31,155.00㎡	294,722.01㎡ 299,172.01㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	<p>共用は奈良文化女子短期 大学、共用する他の学校 等の専用は奈良学園幼稚 園、奈良学園小学校、奈良 学園登美ヶ丘中学校・高 等学校</p> <p>奈良学園幼稚園 収容定員 155人 基準面積 620㎡ 奈良学園小学校 収容定員 720人 基準面積 3,420㎡ 奈良学園登美ヶ丘中学校 収容定員 600人 基準面積 3,720㎡ 奈良学園登美ヶ丘高等学 校 収容定員 675人 基準面積 4,140㎡</p>		
		27,904.85㎡	11,801.07㎡	17,967.47㎡	57,673.39㎡			
		(27,904.85㎡)	(11,801.07㎡)	(17,967.47㎡)	(57,673.39㎡)			
(3) 教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	62室	27室	11室	7室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		学部長室は研究室と兼用		
	人間教育学部 人間教育学科			24 室				
(5) 図 書・設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	<p>大学全体での共用分を含 む図書 269,588 冊 (短大との共用分65,780 冊を含む) 〔32,407 冊〕 学術雑誌 1,350 種 〔380 冊〕 電子ジャーナル 238〔238〕 視聴覚資料 3,607 点</p> <p>絶版、品切れ重版予定な し等の事情により入荷で きなかった書籍は代替書 籍で整備したため冊数の 変更が発生した。また、 機械・器具は共同研究費 の活用により計画時より 充実した。これをもって 整備完了とした。(28)</p>
	人間教育学部 人間教育学科	9,202〔595〕 8,502〔595〕 (9,202〔595〕) (7,106〔450〕) (5,010〔300〕)	30〔3〕 (30〔3〕)	4〔1〕 (4〔1〕)	300 (300) (235) (165)	5,312 5,257 (5,312) (5,021) (4,729)	18 (18) (16) (10)	
	計	9,202〔595〕 8,502〔595〕 (9,202〔595〕) (7,106〔450〕) (5,010〔300〕)	30〔3〕 (30〔3〕)	4〔1〕 (4〔1〕)	300 (300) (235) (165)	5,312 5,257 (5,312) (5,021) (4,729)	18 (18) (16) (10)	

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体		
	4,564.29㎡		486席		378,000冊				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体 登美ヶ丘キャンパスは体育館、その他のスポーツ施設は小・中・高・短大と共用)		
	7,221.27㎡		野球場 2面、サッカー場 4面、テニスコート10面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースを含む
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	500千円	500千円	図書購入費	25,036千円	10,281千円	7,401千円	
	共 同 研 究 費 等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	142,819千円	24,543千円	1,844千円		
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,470千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		奈良学園大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人間教育学部 人間教育学科	4	120	-	480	学士 (教育学)	0.98	平成26年度	奈良県生駒郡三郷町立野北3丁目12-1	
保健医療学部 看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.08	平成26年度	奈良県奈良市中登美ヶ丘三丁目15-1	
ビジネス学部 ビジネス学科	4	-	-	-	学士 (ビジネス学)	-	平成19年度	奈良県生駒郡三郷町立野北3丁目12-1	平成26年度より学生募集停止
情報学部 情報学科	4	-	-	-	学士 (情報学)	-	平成13年度	奈良県生駒郡三郷町立野北3丁目12-1	平成26年度より学生募集停止
大学の名称		奈良学園大学奈良文化女子短期大学部							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
幼児教育学科	2	100	-	200	短期大学士 (幼児教育学)	0.80	昭和44年度	奈良県奈良市中登美ヶ丘三丁目15-1	平成30年度より学生募集停止予定

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人間教育学部 人間教育学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考						
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名							
専	(学)教授	梶田 毅一 (72)	平成26年4月	人間教育学Ⅰ(入門) 人間教育学Ⅱ(応用) 教育と日本の伝統文化入門※ 教育と日本の伝統文化演習※	兼任	講師	梶田 毅一 (75)	平成29年4月	人間教育学Ⅰ(入門) 人間教育学Ⅱ(応用) 教育と日本の伝統文化入門※ 教育と日本の伝統文化演習※	平成29年3月 自己都合により梶田毅一教授が退職。引き続き兼任講師として左記科目を担当するため授業に支障なし。(29)						
専	教授	西辻 正副 (58)	平成26年4月	教育行政学A(初等)	兼任	講師	小野 郁子 (61)	平成28年9月	教育行政学A(初等)	平成28年9月 西辻正副教授の病氣療養(平成28年6月～平成29年7月)に伴い小野郁子兼任講師を採用し左記科目を担当したため授業に支障なし。(29)						
				教育行政学B(中等)					教育行政学B(中等)							
				教育方法・技術論B(中等)※					専		教授	金山 憲正 (69)	平成29年9月	教育方法・技術論B(中等)	平成29年9月 教員組織調整に伴い西辻正副教授から金山憲正教授に担当教員変更予定(29) 平成29年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定	
				国語科教育法Ⅰ					専		教授	鎌田 首治朗 (58)	平成28年9月	国語科教育法Ⅰ	平成28年9月 西辻正副教授の病氣療養(平成28年6月～平成29年7月)に伴い鎌田首治朗教授が左記科目を担当したため授業に支障なし。 平成28年8月教員審査済(29)	
				国語科教育法Ⅱ										国語科教育法Ⅱ		
				国語科教育法Ⅲ					兼任		講師	鎌田 首治朗 (59)	平成29年4月	国語科教育法Ⅰ	平成29年3月 自己都合により鎌田首治朗教授が退職。引き続き兼任講師として左記科目を担当するため授業に支障なし。(29)	
				国語科教育法Ⅳ										国語科教育法Ⅱ		
				教育実習事前事後指導(中・高)												西辻正副教授の病氣療養(平成28年6月～平成29年7月)に伴い、別の専任教員である松田智子教授が担当したため授業に支障なし。(29)
				教育実習Ⅰ(中・高)												
				教育実習Ⅱ(中)												
教職実践演習(中・高)																
人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)	専	講師	山田 均 (60)	平成29年4月	人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)	平成29年4月 教員組織調整に伴い山田均専任講師を採用し左記科目を担当するため授業に支障なし。 平成29年2月教員審査済(29)										
人間教育学ゼミナールⅡ(応用)					人間教育学ゼミナールⅡ(応用)											
卒業研究						卒業研究										
専	教授	松田 智子 (62)	平成26年4月	生活の理解	専	教授	善野 八千子 (61)	平成28年4月	生活の理解	平成28年4月 教員組織調整に伴い善野八千子教授が当該科目を担当するため支障なし。 平成27年11月教員審査済(28)						
				教育原理A(初等)※					教育原理A(初等)※							
				教育原理B(中等)※	専	教授	松田 智子 (64)	平成28年3月 自己都合により中田正浩教授が退職。松田智子教授が当該科目を単独で担当するため支障なし。 平成28年1月教員審査済(28)								
				特別活動の指導法A(初等)					教育原理B(中等)※							
				特別活動の指導法B(中等)					平成28年度報告のなかでオムニバス表記の削除について報告漏れのため追記(29)							
				教育実習事前事後指導(幼)												
				教育実習Ⅰ(幼)												
				教育実習Ⅱ(幼)												
				教育実習事前事後指導(中・高)												
				教育実習Ⅰ(中・高)												
教育実習Ⅱ(中)																
教職実践演習(幼・小)																
教職実践演習(中・高)																
人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)																
人間教育学ゼミナールⅡ(応用)																
卒業研究																

設置時の計画					変更状況					備考			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名				
専	教授	桑原 祐子 (58)	平成27年4月	奈良学 国語学入門 国語学Ⅰ 国語学Ⅱ 国語学特論 語学・文学総合演習Ⅰ(国語学) 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究									
兼任	教授	桑原 祐子 (57)	平成26年4月	奈良学									
専	教授	鎌田 首治朗 (56)	平成26年4月	教職入門A(初等) 教職入門B(中等) 学力と評価 現代教育論 教育実習事前事後指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小) 教職実践演習(幼・小) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究 学校経営と学校図書館		専	教授	鎌田 首治朗 (58)	平成26年4月	教職入門A(初等) 教職入門B(中等) 学力と評価 現代教育論 教育実習事前事後指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小) 教職実践演習(幼・小) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究 学校経営と学校図書館	平成28年4月 教員組織調整に伴い「教職入門B(中等)」を鎌田首治朗教授から瀧明知恵子講師に担当を変更するため支障なし。 平成28年1月教員審査済(28) 平成29年3月 自己都合により鎌田首治朗教授が退職。左記科目の変更については下記参照(29)		
								専	教授	鎌田 首治朗 (58)	平成27年4月	人間教育実践力開発演習Ⅰ 人間教育実践力開発演習Ⅱ 人間教育実践力開発演習Ⅲ 人間教育実践力開発演習Ⅳ	平成27年3月 自己都合により阿部秀高准教授が退職。鎌田首治朗教授が当該科目を追加担当するため支障なし。 平成27年1月教員審査済み。(27) 平成29年3月 自己都合により鎌田首治朗教授が退職。左記科目の変更については下記参照(29)
								兼任	講師	鎌田 首治朗 (59)	平成29年4月	学力と評価 現代教育論 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究 学校経営と学校図書館	平成29年3月 自己都合により鎌田首治朗教授が退職。引き続き兼任講師として左記科目を担当するため授業に支障なし。(29)
								専	教授	根岸 章 (51)	平成29年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)	平成29年3月 自己都合により鎌田首治朗教授が退職。根岸章教授を採用し左記科目を担当するため授業に支障なし。 平成29年2月教員審査済(29)
								専	准教授	松井 典夫 (47)	平成29年4月	教職入門A(初等)	平成29年3月 自己都合により鎌田首治朗教授が退職。松井典夫准教授が左記科目を追加担当するため授業に支障なし。 平成29年2月教員審査済(29)
								専	講師	山田 均 (60)	平成29年4月	人間教育実践力開発演習Ⅰ 人間教育実践力開発演習Ⅱ 人間教育実践力開発演習Ⅲ 人間教育実践力開発演習Ⅳ 教育実習事前事後指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小) 教職実践演習(幼・小)	平成29年3月 自己都合により鎌田首治朗教授が退職。山田均専任講師を採用し左記科目を担当するため授業に支障なし。 平成29年2月教員審査済(29)
専	教授	小竹 光夫 (65)	平成26年4月	書写演習(小) 書写・書道入門 書写・書道Ⅰ 教育と日本の伝統文化演習※ 書写・書道Ⅱ 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究									

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	伊崎 一夫 (59)	平成26年4月	ことばとコミュニケーション 教育と日本の伝統文化演習※ 子どもと言葉 国語科指導法 人間教育実践力開発演習Ⅰ 人間教育実践力開発演習Ⅱ 人間教育実践力開発演習Ⅲ 人間教育実践力開発演習Ⅳ 教育実習事前事後指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小) 教職実践演習(幼・小) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	専	教授	伊崎 一夫 (60)	平成26年4月	ことばとコミュニケーション 教育と日本の伝統文化演習※ 子どもと言葉 国語科指導法 人間教育実践力開発演習Ⅰ 人間教育実践力開発演習Ⅱ 人間教育実践力開発演習Ⅲ 人間教育実践力開発演習Ⅳ 教育実習事前事後指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小) 教職実践演習(幼・小) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	平成27年3月 自己都合により阿部秀高准教授が退職。伊崎一夫教授が当該科目を追加担当するため支障なし。 平成27年1月教員審査済(27)
								平成27年4月	言葉の理解	
専	教授	渡邊 規矩郎 (70)	平成26年4月	教育と日本の伝統文化入門※ 教育と日本の伝統文化演習※ 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究 日本事情						
専	教授	善野 八千子 (59)	平成26年4月	生活科指導法 人間教育実践力開発演習Ⅰ 人間教育実践力開発演習Ⅱ 人間教育実践力開発演習Ⅲ 人間教育実践力開発演習Ⅳ 教育実習事前事後指導(幼) 教育実習Ⅰ(幼) 教育実習Ⅱ(幼) 教育実習事前事後指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小) 教職実践演習(幼・小) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究						
専	准教授	宮崎(竹田)治美 (46)	平成28年4月	中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 中国語会話 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究						
兼任	講師	宮崎(竹田)治美 (46)	平成26年4月	中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 中国語会話						
専	准教授	山本 美紀 (45)	平成26年4月	音楽の世界 音楽の理解 コミュニティと音楽文化 子どもと表現(音楽) 音楽科指導法 教職表現力演習Ⅰ 教職表現力演習Ⅱ 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	専	教授	山本 美紀 (47)	平成28年4月	音楽の世界 音楽の理解 コミュニティと音楽文化 子どもと表現(音楽) 音楽科指導法 教職表現力演習Ⅰ 教職表現力演習Ⅱ 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	平成28年4月 教育指導体制充実のため、山本美紀准教授を教授に昇格。 平成28年1月教員審査済(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	中田 正浩 (69)	平成26年4月	教育原理A(初等)※ 教育原理B(中等)※ 社会の理解 社会科指導法 教育実習事前事後指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小) 教職実践演習(幼・小) 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	専	教授	中田 正浩 (70)	平成27年4月	教育原理A(初等)※ 教育原理B(中等)※ 社会の理解 社会科指導法 教育実習事前事後指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小) 教職実践演習(幼・小) 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	平成27年4月 教育指導体制充実のため、中田正浩准教授を教授に昇格。平成27年1月教員審査済み。 (27) 平成28年3月 自己都合により中田正浩教授が退職。「教育原理A(初等)」「教育原理B(中等)」については松田智子教授が単独で担当するため支障なし。 平成28年1月教員審査済 その他の科目の変更については下記参照(28)
				専	助教	西江 なお子 (44)	平成28年4月	教育実習事前事後指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小) 教職実践演習(幼・小)	平成27年3月 自己都合により中田正浩教授が退職。後任に西江なお子助教を採用し、左記科目を担当することから支障なし。 平成28年1月教員審査済(28)	
				専	教授	松田 智子 (64)	平成28年4月	人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	平成28年3月 自己都合により中田正浩教授が退職。松田智子教授が左記科目を担当することから支障なし。 平成25年9月教員審査済(28)	
				兼任	講師	中田 正浩 (71)	平成28年4月	社会の理解 社会科指導法	平成28年4月 中田正浩講師が兼任教員として左記科目を担当することから支障なし。 平成29年3月 自己都合により中田正浩兼任講師が退職。左記科目の変更については下記参照(29)	
				専	講師	山田 均 (60)	平成29年4月	社会の理解 社会科指導法	平成29年3月 自己都合により中田正浩兼任講師が退職。山田均専任講師を採用し左記科目を担当するため授業に支障なし。 平成29年2月教員審査済(29)	
専	准教授	阿部 秀高 (43)	平成26年4月	言葉の理解 現代教育課題B(特別支援) 人間教育実践力開発演習Ⅰ 人間教育実践力開発演習Ⅱ 人間教育実践力開発演習Ⅲ 人間教育実践力開発演習Ⅳ	専	助教	太田 雄久 (35)	平成27年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教育実習事前事後指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小)	平成27年3月 自己都合により阿部秀高准教授が退職。後任に太田雄久助教を採用し、左記の科目を担当する。なお、言葉の理解については伊崎一夫教授が担当し、人間教育実践力開発演習Ⅰ～Ⅳについては鎌田首治朗教授が担当する。上記いずれも、平成27年1月教員審査済み。 その他の科目については下記のように兼任教員として阿部秀高が就任することから支障なし。(27)
				基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教育実習事前事後指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小) 教職実践演習(幼・小)	兼任	講師	阿部 秀高 (44)	平成27年4月	現代教育課題B(特別支援) 教職実践演習(幼・小) 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究 学校図書館メディアの構成※ 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性	平成28年4月 「現代教育課題B(特別支援)」「人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)」「人間教育学ゼミナールⅡ(応用)」「卒業研究」の科目変更については下記参照(28) 平成29年3月 自己都合により阿部秀高兼任講師が退職。左記科目の変更については下記参照(29)
				人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)	兼任	講師	厨子 健一 (31)	平成28年4月	現代教育課題B(特別支援)	平成28年3月 自己都合により阿部秀高兼任講師が担当辞退。後任に厨子健一兼任講師を採用したため、担当科目に支障なし。(28)
				人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究 学校図書館メディアの構成※ 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性	専	教授	伊崎 一夫 (61)	平成28年4月	人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	平成28年3月 自己都合により阿部秀高兼任講師が担当辞退。伊崎一夫教授が当該科目を担当するため支障なし。 平成25年7月教員審査済(28)
				教職実践演習(幼・小) 学校図書館メディアの構成※ 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性	専	教授	伊崎 一夫 (62)	平成29年4月	教職実践演習(幼・小) 学校図書館メディアの構成※ 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性	平成29年3月 自己都合により阿部秀高兼任講師が退職。伊崎一夫教授が左記科目を追加担当するため授業に支障なし。 平成25年7月教員審査済(29) 平成29年2月教員審査済(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	金山 憲正 (66)	平成26年4月	数の理解 教育方法・技術論A(初等)※ 算数科指導法 教育実習事前事後指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小) 教職実践演習(幼・小) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	専	教授	金山 憲正 (68)	平成28年4月	数の理解 教育方法・技術論A(初等)※ 算数科指導法 教育実習事前事後指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小) 教職実践演習(幼・小) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	平成28年4月 教育指導体制充実のため、金山憲正准教授を教授に昇格。 平成28年1月教員審査済(28)
専	准教授	森 一弘 (55)	平成27年4月	運動・健康の理解 子どもと表現(体育) 体育科指導法 体育実技の指導法 総合的な学習の時間 教育実習事前事後指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小) 教職実践演習(幼・小) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究						
専	准教授	増井 真樹 (63)	平成26年4月	現代教育課題A(不登校・いじめ) 道徳教育の指導法A(初等) 道徳教育の指導法B(中等) 教育実習事前事後指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小) 教職実践演習(幼・小) 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究						
専	准教授	土谷 長子 (54)	平成26年4月	幼児理解 保育課程総論 子どもと健康 子どもと人間関係 教育実習事前事後指導(幼) 教育実習Ⅰ(幼) 教育実習Ⅱ(幼) 教職実践演習(幼・小) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	専	准教授	土谷 長子 (56)			
								平成28年4月	乳児保育	平成28年4月 保育士養成課程認可により当該科目を追加担当する。 平成28年1月教員審査済(28)
								平成29年9月	保育内容総論	平成28年4月 保育士養成課程認可により当該科目を追加担当する。 平成28年1月教員審査済(28)
専	講師	熊田 岐子 (37)	平成26年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 異文化コミュニケーション 英米文学 英語とテレビに見る異文化 小学校外国語活動の指導法 教育実習事前事後指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小) 教職実践演習(幼・小) 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	専	准教授	熊田 岐子 (40)	平成29年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 異文化コミュニケーション 英米文学 英語とテレビに見る異文化 小学校外国語活動の指導法 教育実習事前事後指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小) 教職実践演習(幼・小) 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	平成29年4月 教育指導体制充実のため、熊田岐子講師を准教授に昇格。 平成28年12月教員審査済(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	岡野 聡子 (35)	平成26年4月	キャリアデザインⅠ	専	教授	善野 八千子 (61)	平成28年4月	生活の理解	平成28年4月 教員組織調整に伴い善野八千子教授が当該科目を担当するため支障なし。 平成27年11月教員審査済(28)
				キャリアデザインⅡ キャリアディベロップメントⅠ キャリアディベロップメントⅡ キャリアスキルアップⅠ キャリアスキルアップⅡ インターンシップ 生活の理解 子どもと環境 教職表現力演習Ⅰ 教職表現力演習Ⅱ 教育実習事前事後指導(幼) 教育実習Ⅰ(幼) 教育実習Ⅱ(幼) 教職実践演習(幼・小) 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	専	准教授	岡野 聡子 (38)	平成29年4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアディベロップメントⅠ キャリアディベロップメントⅡ キャリアスキルアップⅠ キャリアスキルアップⅡ インターンシップ 生活の理解 子どもと環境 教職表現力演習Ⅰ 教職表現力演習Ⅱ 教育実習事前事後指導(幼) 教育実習Ⅰ(幼) 教育実習Ⅱ(幼) 教職実践演習(幼・小) 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	平成29年4月 教育指導体制充実のため、岡野聡子講師を准教授に昇格。 平成28年12月教員審査済(29)
専	講師	岡村 季光 (39)	平成26年4月	教育心理学A(初等) 教育心理学B(中等) 保育相談支援 教育相談の理論と方法A(初等) 教育相談の理論と方法B(中等) 教職表現力演習Ⅰ 教職表現力演習Ⅱ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	専	准教授	岡村 季光 (42)	平成29年4月	教育心理学A(初等) 教育心理学B(中等) 保育相談支援 教育相談の理論と方法A(初等) 教育相談の理論と方法B(中等) 教職表現力演習Ⅰ 教職表現力演習Ⅱ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	平成29年4月 教育指導体制充実のため、岡村季光講師を准教授に昇格。 平成28年12月教員審査済(29)
専	講師	高木 悠哉 (33)	平成26年4月	発達心理学A(初等) 発達心理学B(中等) 行動の科学 食の心理 教職表現力演習Ⅰ 教職表現力演習Ⅱ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究						
専	講師	松井 典夫 (44)	平成26年4月	美術の理解 現代教育課題C(学校と安全) 子どもと表現(図工) 図工科指導法 教職表現力演習Ⅰ 教職表現力演習Ⅱ 人間教育実践力開発演習Ⅰ 人間教育実践力開発演習Ⅱ 人間教育実践力開発演習Ⅲ 人間教育実践力開発演習Ⅳ 教育実習事前事後指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小) 教職実践演習(幼・小) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	専	准教授	松井 典夫 (45)	平成27年4月	美術の理解 現代教育課題C(学校と安全) 子どもと表現(図工) 図工科指導法 教職表現力演習Ⅰ 教職表現力演習Ⅱ 人間教育実践力開発演習Ⅰ 人間教育実践力開発演習Ⅱ 人間教育実践力開発演習Ⅲ 人間教育実践力開発演習Ⅳ 教育実習事前事後指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小) 教職実践演習(幼・小) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間教育学ゼミナールⅠ(基礎) 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	平成27年4月 教育指導体制充実のため、松井典夫専任講師を准教授に昇格。平成27年1月教員審査済み。(27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	瀧明 知恵子 (61)	平成26年4月	器楽演習Ⅰ(鍵盤楽器)	専	講師	瀧明—知恵子 (63)	平成28年4月	教職入門B(中等)	平成28年4月 教員組織調整に伴い左記科目を鎌田首治朗教授から瀧明知恵子講師に変更し担当する。 平成28年1月教員審査済(28)
				器楽演習Ⅱ(鍵盤楽器)					器楽・歌唱の指導法	
専	講師	太田(森岡) ゆかり (52)	平成27年4月	漢文学入門	兼任	講師	山田—明広 (39)	平成28年4月	漢文学入門	平成28年3月 自己都合により太田(森岡)ゆかり講師が退職。 後任に山田明広兼任講師を採用したため、担当科目に支障なし。また、平成28年6月に山田明広兼任講師を専任として教員審査受審予定。(平成28年6月変更書提出予定)(28)
				漢文学Ⅰ					漢文学Ⅰ	
				漢文学Ⅱ					漢文学Ⅱ	
				漢文学特論				漢文学特論		
				語学・文学総合演習Ⅲ(漢文学)					語学・文学総合演習Ⅲ(漢文学)	
				教職表現力演習Ⅰ	専	講師	山田 明広 (40)	平成28年9月	漢文学Ⅰ	平成28年9月 太田(森岡)ゆかり専任講師の退職により後任に採用した山田明広兼任講師を専任講師として採用し「漢文学Ⅰ」「語学・文学総合演習Ⅲ(漢文学)」「漢文学入門」「漢文学Ⅱ」「漢文学特論」を担当。 さらに教育内容を充実させるため「教職表現力演習Ⅰ」「教職表現力演習Ⅱ」を担当。 平成28年8月教員審査済(29)
				教職表現力演習Ⅱ					漢文学Ⅰ	
					専任	教授	桑原 祐子 (59)	平成28年4月	教職表現力演習Ⅰ	平成28年3月 自己都合により太田(森岡)ゆかり講師が退職。桑原祐子教授が当該科目を追加担当するため支障なし。 平成27年11月教員審査済(28)
									教職表現力演習Ⅱ	
専	助教	酒井(阿尾) あすか (36)	平成26年4月	文学	専	講師	阿尾 あすか (38)	平成28年4月	文学	平成28年4月 教育指導体制充実のため、阿尾あすか助教を講師に昇格。 平成28年1月教員審査済(28)
				国文学入門					国文学入門	
				国文学Ⅰ					国文学Ⅰ	
				国文学Ⅱ					国文学Ⅱ	
				国文学特論					国文学特論	
				語学・文学総合演習Ⅱ(国文学)					語学・文学総合演習Ⅱ(国文学)	
				人間教育実践力開発演習Ⅰ					人間教育実践力開発演習Ⅰ	
				人間教育実践力開発演習Ⅱ					人間教育実践力開発演習Ⅱ	
				人間教育実践力開発演習Ⅲ					人間教育実践力開発演習Ⅲ	
				人間教育実践力開発演習Ⅳ					人間教育実践力開発演習Ⅳ	
				基礎ゼミナールⅠ					基礎ゼミナールⅠ	
				基礎ゼミナールⅡ					基礎ゼミナールⅡ	
専	助教	オチャンテ 村井 ロサ メルセデス (34)	平成28年4月	現代教育課題D (学校における異文化理解)						
				教職表現力演習Ⅰ						
				教職表現力演習Ⅱ						
兼任	教授	森 基雄 (54)	平成26年4月	英語Ⅰ						
				英語Ⅱ						
兼任	教授	吉岡 隆之 (51)	平成26年4月	行動科学の基礎	兼任	講師	吉岡 隆之 (54)	平成28年10月	行動科学の基礎	平成28年9月 自己都合により吉岡隆之兼任教授が退職。兼任講師として左記科目を担当することから授業に支障なし。(29)
				感性・イメージ表現					感性・イメージ表現	
				文化芸術交流論※					文化芸術交流論※	
				文化芸術交流演習					文化芸術交流演習	
兼任	教授	井上 真理子 (66)	平成26年4月	社会学	兼任	講師	井上 真理子 (69)	平成29年9月	社会学	平成29年3月 井上真理子兼任教授が退職。兼任講師として左記科目を担当することから授業に支障なし。(29)
兼任	教授	淡野 明彦 (66)	平成26年4月	地理学	兼任	講師	淡野—明彦 (66)	平成26年4月	地理学	他学部就任予定がなくなったため(26)
					兼任	講師	日下 耕三 (68)	平成28年4月	地理学	平成28年3月 自己都合により淡野明彦兼任講師が退職。 後任に日下耕三兼任講師を採用したため、担当科目に支障なし。(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	根岸 章 (48)	平成26年4月	数学の世界	専	教授	根岸 章 (51)	平成29年4月	数学の世界 人間教育学ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究	平成29年4月 教育指導体制充実のため、根岸章兼任教授を専任教授に採用し左記科目を担当。 平成29年2月教員審査済(29)
兼任	教授	向井 厚志 (45)	平成26年4月	物理と地学の基礎 実験と科学 生活と環境※	兼任	教授	大原一 荘司 (68)	平成27年4月	物理と地学の基礎 実験と科学 生活と環境※	平成27年3月 自己都合により向井厚志兼任教授が退職。担当科目は大原荘司兼任教授が担当のため支障なし。(27) 平成29年3月 任期満了により大原荘司兼任教授が退職。左記科目の変更については下記参照(29)
					兼任	講師	大原 荘司 (70)	平成29年4月	物理と地学の基礎 実験と科学 生活と環境※	平成29年3月 任期満了により大原荘司兼任教授が退職。担当科目は大原荘司兼任講師が担当のため授業に支障なし。(29)
兼任	教授	清水 啓司 (61)	平成26年4月	健康スポーツ(理論) 健康スポーツ(実技)	兼任	講師	岡部 修一 (58)	平成29年4月	健康スポーツ(理論)	平成29年3月 自己都合により清水啓司兼任教授が退職。担当科目は岡部兼任講師が担当のため授業に支障なし。(29)
					兼任	講師	西田 裕之 (57)	平成29年4月	健康スポーツ(実技)	平成29年3月 自己都合により清水啓司兼任教授が退職。担当科目は西田裕之兼任講師が担当のため授業に支障なし。(29)
兼任	教授	岡部 修一 (55)	平成26年4月	健康スポーツ(実技) スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ	兼任	講師	岡部 修一 (58)	平成29年4月	健康スポーツ(実技) スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ	平成29年3月 任期満了により岡部修一兼任教授が退職。兼任講師として左記科目を担当することから授業に支障なし。(29)
兼任	教授	西田 裕之 (54)	平成26年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ	兼任	講師	西田 裕之 (57)	平成29年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ	平成29年3月 任期満了により西田裕之兼任教授が退職。兼任講師として左記科目を担当することから授業に支障なし。(29)
兼任	教授	河合 和男 (62)	平成26年4月	国際経済事情						
兼任	教授	杵崎 のり子 (54)	平成26年4月	情報機器の操作 シミュレーションの世界 データの世界						
兼任	准教授	阪元 勇輝 (54)	平成26年4月	環境化学の基礎 生活と環境※	兼任	教授	阪元一 勇輝 (56)	平成28年4月	環境化学の基礎 生活と環境※	平成28年4月 教育指導体制充実のため、阪元勇輝兼任准教授が兼任教授に昇格し左記科目を担当。 (28) 平成28年度設置計画履行状況報告から記入漏れのため追記(29)
					兼任	講師	阪元 勇輝 (57)	平成29年4月	環境化学の基礎 生活と環境※	平成29年3月 阪元勇輝兼任教授が退職。兼任講師として左記科目を担当することから授業に支障なし。(29)
兼任	准教授	武谷 嘉之 (43)	平成26年4月	共生と日本社会						
兼任	講師	表 弘一郎 (43)	平成26年4月	哲学	兼任	講師	表 弘一郎 (43)	平成26年4月	哲学	他学部就任予定がなくなったため(26)
兼任	講師	西川 弘展 (42)	平成26年4月	社会科学の基礎	兼任	講師	西川 弘展 (45)	平成29年9月	社会科学の基礎	平成29年3月 西川弘展兼任講師が退職。兼任講師として左記科目を担当することから授業に支障なし。(29)
兼任	講師	羽太 広海 (44)	平成26年4月	CGの基礎と演習	兼任	講師	大場 六夫 (59)	平成29年4月	CGの基礎と演習	平成29年3月 自己都合により羽太広海兼任講師が退職。後任に大場六夫兼任講師を採用したため授業に支障なし。(29)
兼任	講師	武田 亜希子 (41)	平成26年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	兼任	講師	武田一 亜希子 (41)	平成26年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	平成26年9月 本務の都合により武田亜希子兼任講師が退職。担当科目は熊田岐子専任講師が担当のため支障なし。(27)
					兼任	講師	オチャンテ 村井 カルロス マヌエル (36)	平成29年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	平成29年4月 本務の都合により退職した武田亜希子兼任講師の後任にオチャンテ 村井 カルロス マヌエル兼任講師を採用し、当初の計画どおり熊田岐子准教授とクラスを分けて担当(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	鳥谷 善史 (49)	平成26年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 社会言語学 日本語教育入門 日本語教育指導法・教材研究 日本語教育実習事前事後指導 日本語教育実習(国内又は海外)						
兼任	講師	濱崎 雅孝 (43)	平成26年4月	倫理学 情報倫理とセキュリティ						
兼任	講師	野口 智草 (33)	平成26年4月	心理学						
兼任	講師	森田 良成 (37)	平成26年4月	文化人類学 文化コミュニケーション						
兼任	講師	北村 義博 (58)	平成26年4月	感性・イメージ表現 文化芸術交流論※ 文化芸術交流演習						
兼任	講師	小林 直樹 (43)	平成26年4月	日本国憲法 人権論						
兼任	講師	渡邊 和行 (61)	平成26年4月	外国史						
兼任	講師	谷口 直子 (53)	平成26年4月	ボランティア活動						
兼任	講師	秋吉 博之 (61)	平成27年4月	自然の理解 理科指導法	専	助教	太田 雄久 (35)	平成27年4月	自然の理解 理科指導法	平成27年3月 自己都合により秋吉博之兼任講師が就任辞退。後任に太田雄久助教を採用したため担当科目に支障なし。 平成27年1月教員審査済み(27)
兼任	講師	西江 なお子 (42)	平成27年4月	衣食住の理解 家庭科指導法	専	助教	西江 なお子 (44)	平成28年4月	衣食住の理解 家庭科指導法 人間教育実践力開発演習Ⅰ 人間教育実践力開発演習Ⅱ 人間教育実践力開発演習Ⅲ 人間教育実践力開発演習Ⅳ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教育実習事前事後指導(幼) 教育実習Ⅰ(幼) 教育実習Ⅱ(幼)	平成28年4月 教育指導体制充実のため、西江なお子兼任講師を専任助教で採用し、左記科目を担当する。 平成28年1月教員審査済(28)
兼任	講師	大西 雅博 (54)	平成26年4月	器楽演習Ⅲ(パーカッション) 器楽演習Ⅳ(パーカッション)						
兼任	講師	佃 繁 (60)	平成28年4月	教育課程論A(初等) 教育課程論B(中等)						
兼任	講師	平松 茂 (64)	平成28年4月	教育方法・技術論A(初等)※ 教育方法・技術論B(中等)※	兼任 准教授		米川—雅士— (41)	平成28年9月	教育方法・技術論A(初等)※ 教育方法・技術論B(中等)※	平成28年9月 平松茂兼任講師就任辞退により退職。後任に米川雅士兼任准教授を採用したが、平成29年3月、米川雅士兼任准教授退職に伴い金山憲正教授が左記科目を単独担当予定(29) 平成29年6月専任教員採用等設置計画変更書提出予定
					専	教授	金山 憲正 (69)	平成29年9月	教育方法・技術論A(初等) 教育方法・技術論B(中等)	
兼任	講師	古川 治 (66)	平成27年4月	生徒指導・進路指導論A(初等) 生徒指導・進路指導論B(中等)	兼任 講師		杉田—郁代— (46)	平成27年4月	生徒指導・進路指導論A(初等) 生徒指導・進路指導論B(中等)	平成26年3月 古川治兼任講師就任辞退により退職。後任に杉田郁代兼任講師を採用したため担当科目に支障なし。(27)
					兼任 講師		松岡 律 (44)	平成27年4月	生徒指導・進路指導論A(初等) 生徒指導・進路指導論B(中等)	平成27年3月 杉田郁代兼任講師就任辞退により退職。後任に松岡律兼任講師を採用したため担当科目に支障なし。(27)
兼任	講師	木戸 和彦 (45)	平成29年4月	学校図書館メディアの構成※ 情報メディアの活用	兼任 講師		米川 雅士 (42)	平成29年4月	学校図書館メディアの構成※ 情報メディアの活用	平成29年3月 木戸和彦兼任講師就任辞退により退職。後任に米川雅士兼任講師を採用したため担当科目に支障なし(29)
					兼任 講師		森本 宮仁子 (56)	平成28年9月	保育原理	平成28年4月 保育士養成課程認可により左記科目を追加し、森本宮仁子兼任講師を採用したため。(28)
					兼任 講師		久保 博 (64)	平成29年4月	社会福祉	平成28年4月 保育士養成課程認可により左記科目を追加し、久保博兼任講師を採用したため。(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	河合 洋見 (62)	平成29年4月	子どもの食と栄養	平成28年4月 保育士養成課程認可により左記科目を追加し、河合洋見兼任講師を採用したため。(28)
					兼任	講師	明神 規子 (65)	平成29年9月	保育者論	平成28年4月 保育士養成課程認可により左記科目を追加し、明神規子兼任講師を採用したため。(28)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	5 名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
9	8	7	2	26	10	9	4	3	26	10	9	4	3	26
(8)	(6)	(6)	(1)	(21)						[1]	[1]	[Δ3]	[1]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	5 名	5 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし							
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人				科目		科目		科目	科目
				科目		科目		科目	科目
				科目		科目		科目	科目
			計	科目	計	科目	計	科目	計

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	阿部 秀高	必修	言葉の理解	①	一身上の都合による (27)
			選択	現代教育課題B (特別支援)	②	
			選択	人間教育実践力開発演習 I	①	
			選択	人間教育実践力開発演習 II	①	
			選択	人間教育実践力開発演習 III	①	
			選択	人間教育実践力開発演習 IV	①	
			必修	基礎ゼミナール I	①	
			必修	基礎ゼミナール II	①	
			必修	教育実習事前事後指導 (小)	①	
			必修	教育実習 I (小)	①	
			必修	教育実習 II (小)	①	
			必修	教職実践演習 (幼・小)	①	
			選択	人間教育学ゼミナール I (基礎)	①	
			選択	人間教育学ゼミナール II (応用)	①	
			選択	卒業研究	①	
			2	教授	中田 正浩	
選択	教育原理 B (中等)	①				
必修	社会の理解	②				
必修	社会科指導法	②				
必修	教育実習事前事後指導 (小)	①				
必修	教育実習 I (小)	①				
必修	教育実習 II (小)	①				
必修	教職実践演習 (幼・小)	①				
選択	人間教育学ゼミナール I (基礎)	①				
選択	人間教育学ゼミナール II (応用)	①				
選択	卒業研究	①				

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
3	講師	太田(森岡)ゆかり	選択	漢文学入門	②	自己都合のため辞任(28)							
			選択	漢文学Ⅰ	②								
			選択	漢文学Ⅱ	②								
			選択	漢文学特論	②								
			選択	語学・文学総合演習Ⅱ(漢文学)	②								
			選択	教職表現力演習Ⅰ	①								
			選択	教職表現力演習Ⅱ	①								
4	教授	梶田 叡一	必修	人間教育学Ⅰ(入門)	②	自己都合のため辞任(29)							
			必修	人間教育学Ⅱ(応用)	②								
			必修	教育と日本の伝統文化入門※	②								
			選択	教育と日本の伝統文化演習※	②								
5	教授	鎌田 首治朗	必修	教職入門A(初等)	①	自己都合のため辞任(29)							
			選択	学力と評価	②								
			選択	現代教育論	②								
			必修	教育実習事前事後指導(小)	①								
			必修	教育実習Ⅰ(小)	①								
			必修	教育実習Ⅱ(小)	①								
			必修	教職実践演習(幼・小)	①								
			必修	基礎ゼミナールⅠ	①								
			必修	基礎ゼミナールⅡ	①								
			選択	人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)	①								
			選択	人間教育学ゼミナールⅡ(応用)	②								
			選択	卒業研究	②								
			選択	学校経営と学校図書館	②								
			選択	人間教育実践力開発演習Ⅰ	①								
			選択	人間教育実践力開発演習Ⅱ	①								
			選択	人間教育実践力開発演習Ⅲ	①								
			選択	人間教育実践力開発演習Ⅳ	①								
選択	国語科教育法Ⅰ	②											
選択	国語科教育法Ⅱ	②											
合計(C)					後任補充状況の集計(D)								
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)				
5	人	必修	24	科目	必修	19	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
		選択	35	科目	選択	18	科目	選択	17	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	59	科目	計	37	科目	計	22	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計(A)+(C)					後任補充状況の集計(B)+(D)								
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)				
5	人	必修	24	科目	必修	19	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
		選択	35	科目	選択	18	科目	選択	17	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	59	科目	計	37	科目	計	22	科目	計	0	科目

- (注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

阿部秀高准教授の専任教員辞退による代替措置としては、教育実習科目が担当可能な専任教員の新規採用及び他の専任教員が教員組織審査で可の判定を受け、科目を担当すること（平成27年1月教員審査済み）、さらに阿部秀高准教授も兼任教員として引き続き就任することから授業運営に係る支障はない。

また、学生への周知方法については、学期始めの履修登録指導時において関係資料を配布し、説明することで周知している。(27)

・中田正浩教授の退職による代替措置としては、教育実習科目が担当可能な専任教員の新規採用及び松田智子教授が既に教員組織審査で担当可の判定を受け、科目を担当することから授業運営に係る支障はない。(平成25年9月及び平成28年1月教員審査済み)

さらに中田正浩教授も兼任教員として引き続き就任することから授業運営に係る支障はない。

また、学生への周知方法については、学期始めの履修登録指導時において関係資料を配布し、説明することで周知している。(28)

・太田(森岡)ゆかり講師の退職による代替措置としては、演習科目については桑原祐子教授が教員組織審査で担当可の判定を受け、科目を担当することから授業運営に係る支障はない。(平成27年11月教員審査済み)

さらに講義科目については兼任講師を新規採用したため、授業運営に係る支障はない。なお、当該兼任教員は平成28年7月に教員審査を受ける予定。

また、学生への周知方法については、学期始めの履修登録指導時において関係資料を配布し、説明することで周知している。(28)

・梶田勲一教授の退職による代替措置としては、兼任講師として引き続き就任することから授業運営に係る支障はない。

また、学生への周知方法については、学期始めの履修登録時において関係資料を配布し、説明することで周知している。(29)

・鎌田首治朗教授の退職による代替措置としては、教育実習科目及びゼミ関連科目の担当可能な専任教員の新規採用及び他の専任教員が教員組織審査で担当可の判定を受け、科目を担当することから授業運営に係る支障はない。(平成29年2月教員審査済み)

さらに、鎌田首治朗教授も兼任講師として引き続き就任することから授業運営に係る支障はない。

また、学生への周知方法については、学期始めの履修登録時において関係資料を配布し、説明することで周知している。(29)

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (26年 4月)	該当なし	該当なし (26)	
設置計画履行状況 調 査 時 (27年 2月)	該当なし	該当なし (27)	
設置計画履行状況 調 査 時 (28年 2月)	該当なし	該当なし (28)	
設置計画履行状況 調 査 時 (29年 2月)	人間教育学部人間教育 学科において、定年規 程に定める退職年齢を 超える専任教員数の割 合が比較的高いことか ら、定年規程の趣旨を 踏まえた適切な運用に 努めるとともに、教員 組織編成の将来構想に ついて検討すること。	改善意見	平成29年度の状況では定年規 程に定める退職年齢を超える 専任教員数は5名、平成30年度 には退職年齢を超える専任教 員が退職により2名に減少しま す。また、教育研究の継続 性、質の確保のために退職に 伴う教員の補充（教育内容の 充実を図るために若手教員や 教育研究に優れた経験豊富な 教員を10名程度）を計画して います。 平成31年度以降については、 教育研究の継続性、質の確 保・向上のために定年規程に 定める退職年齢を超える専任 教員を段階的に減少させ、若 手・中堅教員の育成と職位昇 格などを含め学内で検討いた します。

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人間教育学部 人間教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
 専門委員会にFD委員会を設置している。FD委員は各学部から選出され、教員の資質の維持向上のために協議し各施策に取り組んでいる。
 （参考）奈良学園大学FD委員会規程

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 委員会は、毎月定例に開催している。平成28年度実績は次のとおり。
 第1回 4月22日 構成員8名中 7名出席
 第2回 5月27日 構成員8名中 7名出席
 第3回 6月24日 構成員8名中 7名出席
 第4回 9月23日 構成員8名中 7名出席
 第5回 10月28日 構成員8名中 8名出席
 第6回 2月24日 構成員8名中 7名出席
 第7回 3月24日 構成員8名中 6名出席

以上

c 委員会の審議事項等
 FD委員会は、次の事項を審議する。
 (1) 授業改善のための基本方針の策定に関する事項
 (2) 教育活動における教職員の交流と研修に関する事項
 (3) 教員の教授活動相互研鑽に関する事項
 (4) 学生による授業評価の実施に関する事項
 (5) 学生の勉学能力の育成に関する事項
 (6) その他委員会が必要と認めた事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業改善シート
- ・ 教員相互の授業参観（公開授業）
- ・ 授業評価アンケート
- ・ 非常勤講師教育懇談会
- ・ 実習協議会
- ・ FD講演会

b 実施方法

・ 授業改善シート

授業期間の前半に授業改善シートを実施し、学生の意見を集約する。その上でシートの内容を参考にしながら授業方法を改善する。

・ 教員相互の授業参観（公開授業）

専任教員が担当する授業（但し、演習系、スポーツ実習系、オムニバス、10名以下の履修者の科目を除く）を対象に、教員相互が授業参観する。

年2回（前・後期各1回）実施。実施期間中に最低2回授業を参観する。

授業を参観後、参観票に記入し、教務課に提出する。提出された参観票は教務課で整理後、FD委員会においてチェックし、各授業の担当教員に渡す。担当教員は、参観票を読んで、自分の授業の改善のために役立てる。

・ 全ての授業について授業評価アンケートを、前期末後期末の2回実施。

・ 非常勤講師教育懇談会

非常勤講師と大学執行部との意見交換や交流を目的とする。

・ FD講演会

講演会を開催し、教員の教育の質の向上を図る。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・ 教員相互の授業参観（公開授業）

実施期間 教員全員参加（各人2回ずつ）

前期

【三郷キャンパス】 6月6日（月）～6月18日（土）

【登美ヶ丘キャンパス】 6月6日（月）～6月18日（土）

後期

【三郷キャンパス】 11月28日（月）～12月9日（金）

【登美ヶ丘キャンパス】 11月28日（月）～12月9日（金）

・ 非常勤講師教育懇談会

4月5日（水）開催。全学部あわせて、35名の出席があり、非常勤講師と懇談した。

・ FD講演会・研修会

FD講演会（講演と意見交換）を2回、研修会を2回開催した。

・ FD講演会

第1回：平成28年8月23日（火）15：00～ 三郷キャンパスで実施 約60名参加

講師：溝上慎一（京都大学高等教育研究開発推進センター 教授）

演題：「大学におけるアクティブラーニング」

第2回：平成28年3月9日（木）13:00～ 登美ヶ丘キャンパスで実施 約30人参加

講師：井上史子（帝京大学高等教育開発センター 主任）

演題：「ルーブリック評価の導入と実際」

・ FD研修会（2回開催）

第1回 平成28年8月10日（水）10：30～ 登美ヶ丘キャンパスで実施 18名参加

講師：服部兼敏（元神戸市看護大学教授）

演題：「成功する研究企画」

第2回 平成29年3月29日（水）13:00～ 登美ヶ丘キャンパスで実施 約15人参加

講師：上野栄一（福井大学医学部看護学科 教授）

演題：「看護診断について」

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

今後も、全学FD委員会事業に参加するとともに、定期的な学部連絡会の開催や日常的な教員相互の授業参観の実施等により、学生の動向についての情報共有や授業改善に関する意見交換等、人間教育学部独自の教育改善や実習改善に関する教員の資質向上を図るための取り組みを進めていく。参加者は、自己評価と研修を通じて授業方法の改善に役立てていく。

FD活動の流れ

※下記のサイクルで、授業の改善を行っている。

① 授業期間の前半に授業改善シートを実施し、学生の意見を集約する。

② 授業改善シートの内容を参考にしながら授業方法を改善していく。

③ 授業期間の中盤に、参観授業を行い他の教員の意見を聞く。

④ 他の教員から出た意見を参考にしながら授業方法を改善していく。

⑤ 授業期間の後半に授業評価アンケートを実施し、学生の理解度を確認する。

⑥ 授業評価アンケートの集計結果を、次の学期の授業改善に活かす。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期末後期末の2回実施した。

授業評価アンケートは次のとおり。

・前期 授業評価アンケート 7月11日（月）及び7月16日（土）～7月29日（金）

・後期 授業評価アンケート 1月16日（月）～1月28日（土）

※集計結果は大学ホームページにアップし公開している。

(http://www.naragakuen-u.jp/introduction/class_evaluation.html)

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートは、結果を集計・分析し、評議会及び教授会での報告と併せてホームページで教員や学生に公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学校法人奈良学園は、高等教育機関の再編を進める上で、法人内外の委員で構成された高等教育検討委員会を設置し検討を重ねた結果、既存のビジネス学部及び情報学部の学生募集を停止し、人間教育学部及び保健医療学部を平成26(2014)年4月に設置することとした。さらに、大学名称を本法人名を冠する奈良学園大学に改称し、総合学園のスケールメリットを生かすこととした。

人間教育学部及び保健医療学部設置にあたっては、高等教育改革推進委員会を設置し、学長予定者及び学部長予定者が中心となって具体的な教育目標、教育内容、教育方法、教育環境について検討を重ねた。認可申請書を提出する際には、前述の委員会を(仮称)奈良学園大学設置準備委員会に改称し、より詳細な準備を進めた。

設置認可後は、着任予定者を参集し、学長から建学の精神及び教育理念を伝え、本学の目指す教育を明示した。

平成28年度についても、平成26、27年度同様に、学生確保においては、高校訪問やオープンキャンパスを適切に行い、近隣高校及び参加者に誠実な対応に努めた結果、定員を確保することができた。

設置申請した教育課程に基づき、1年次及び2年次生に教育を行い、シラバスに沿った講義を行うとともに、実習についても問題なく完了した。実習機関等における学生の状況も高評であり、今後も、教育目標の達成のために、継続的に点検を行いつつ、計画に従って教育を行っていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・平成27年4月 公表済み

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、図書館及び事務室に配架
- ・大学ホームページ上に公開済み(平成27年4月)

③ 認証評価を受ける計画

平成22年度に「財団法人日本高等教育評価機構」により機関別認証評価を受審したが、大学全体の収容定員に対して在籍学生数が大幅に下回っていること、それに伴い学生生徒納付金比率が急激に低下しているとの指摘を受け、学生募集及び財務について基準を満たしているか否かの判定が「保留」となった。

このことから、平成25年に、2つの基準について再評価を申請し、平成26年度に「平成26年度大学機関別認証評価(再評価)」を受審した結果、平成27年3月10日付で「平成26年度奈良学園大学再評価報告書」「認定証」が届いた。判定は、「再評価の結果、奈良学園大学は、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしていると認定する。」とされ、総評では「平成26(2014)年度に基準4及び基準8について、平成22(2010)年度の認証評価時に指摘した改善事項の内容を中心に再評価を行った結果、指摘事項については改善されたことが確認できた。今後も継続的に自己点検・評価を行い、質の保証と改善に努めることを期待する。」と、改善を評価された。

この認定期間は平成29年3月末までであり、次のサイクルの認定を得るため、自己点検評価委員会を継続開催し、点検作業を進めている。平成28年7月にエントリーした。平成29年6月に書類等を提出する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成 29 年 7 月 1 日)

奈良学園大学FD委員会規程

制	定	平成18年	4月	1日
最近改正		平成26年	4月	1日

(設置)

第1条 本学にFD委員会（以下「委員会」という。）を置き、本学におけるFD（ファカルティ・ディベロップメント）推進のために必要な事項の審議及び学部間の連絡、調整等を行う。

(構成員)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 副学長
- (2) 学部選出教員 各2名
- (3) 事務局教務課長
- (4) その他学長が必要と認め委嘱した者

2 前項第2号及び第4号の委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長)

第3条 委員会に委員長を置く。なお、委員長は、委員の中から学長が指名する。

2 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

(審議事項)

第4条 委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 授業改善のための基本方針の策定に関する事項
- (2) 教育活動における教職員の交流と研修に関する事項
- (3) 教員の教授活動相互研鑽に関する事項
- (4) 学生による授業評価の実施に関する事項
- (5) 学生の勉学能力の育成に関する事項
- (6) その他委員会が必要と認めた事項

2 前項の審議事項は、企画運営会議に報告または発議し、必要に応じて大学評議会に報告または発議するものとする。

(小委員会の設置)

第5条 委員会は、必要に応じて、小委員会を設置することができる。

2 小委員会は、議論の内容を委員会に報告しなければならない。

(委員以外の出席)

第6条 委員長は、委員会が必要と認めたときは、委員以外の者に出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(事務)

第7条 委員会の事務は、事務局教務課がこれを行う。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、大学評議会においてこれを行う。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項の規定にかかわらず、平成22年4月1日を任期の始期とする第2条第1項第2号の委員のうち各学部1名の任期は1年とする。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項の規定にかかわらず、平成26年4月1日を任期の始期とする第2条第1項第2号の委員のうち各学部1名の任期は1年とする。